

令和5年11月30日（木）

## 長良東小学校50周年 記念プロジェクト

11月30日（木）に、「長良東小学校50周年記念プロジェクト」が行われました。キャリア教育として、子どもたちが自分の夢をもつことのすばらしさに気付き、それに向かってがんばることの大切さを一緒に考えていくという目的で行われました。そして、この「長良東小学校50周年記念プロジェクト」が開催される運びとになったのには、次のようなドラマがありました。（11月30日夕方放映のテレビ番組や12月1日掲載の新聞欄でも知らされました。）

9月30日（土）に行った運動会で、長良東小学校創立50周年の記念行事として、全校の子どもたちが自分の夢や目標を記した紙をくりつけたバルーンを空へと放ったところから始まりました。何百キロメートルも旅したバルーンの中には、長野県や栃木県、埼玉県など、岐阜市から200～300キロメートルも離れた土地に舞い降りたものもありました。

10月3日（火）、そのうちの一つのバルーンが岐阜市から280キロメートルほど離れた栃木県栃木市内の方に発見されました。そしてその方が「スポーツカーに乗ってレースに勝ちたい。」という子の紙をSNSに載せて「スポーツカーに乗る夢を叶えてくれよ。」とエールを送られました。それを見られた「平手晃平と車で遊ぼう」のメンバーの方が学校に連絡してくださり、「何か子どもたちの役に立てることはないでしょうか。」という申し出により、今回の「長良東小学校50周年記念プロジェクト」が開催されることになりました。



レーシングスーツ姿で  
話される平手晃平さん

当日は、全校の子どもたちが体育館に集まり、プロのカーレーサーである平手晃平さんがレーシングスーツで登場され、平手晃平さんのお話に聞き入りました。驚いたのは、平手晃平さんが3歳の頃に補助輪なしの自転車を乗りこなしていたことや小学校5年生の頃に時速100キロメートルを超えるスピードのレーシングカーを運転していたことでした。平手晃平さんに「今までに何回優勝していますか？」と質問した子がいて、「もう100回以上は優勝しています。」との答えに歓声を上げていました。また、平手晃平さんが「あなたたちの夢は何ですか？」という質問をした時には、「ぼくはサッカー選手になりたいです。」「私は保育士になりたいです。」と自分の夢を答えていました。平手晃平さんは、全校の子どもたちに向けて、「自分の夢や目標をもってがんばっていくことを大切にしてもらいたい。たとえその夢が叶わないことがあったとしてもそれまでに努力したことは決して無駄にはならない。自分の生きる力になる。」と最後に強く語られました。

講演の後は、全校の子どもたちが運動場に出て、「平手晃平と車で遊ぼう」のメンバーの方が準備してくださった車に乗車させてもらったり記念撮影をしたりして、とても楽しい時間を過ごしました。

## 当日の様子を一部写真で紹介します

